

向こう 1 か月の天候の見通し

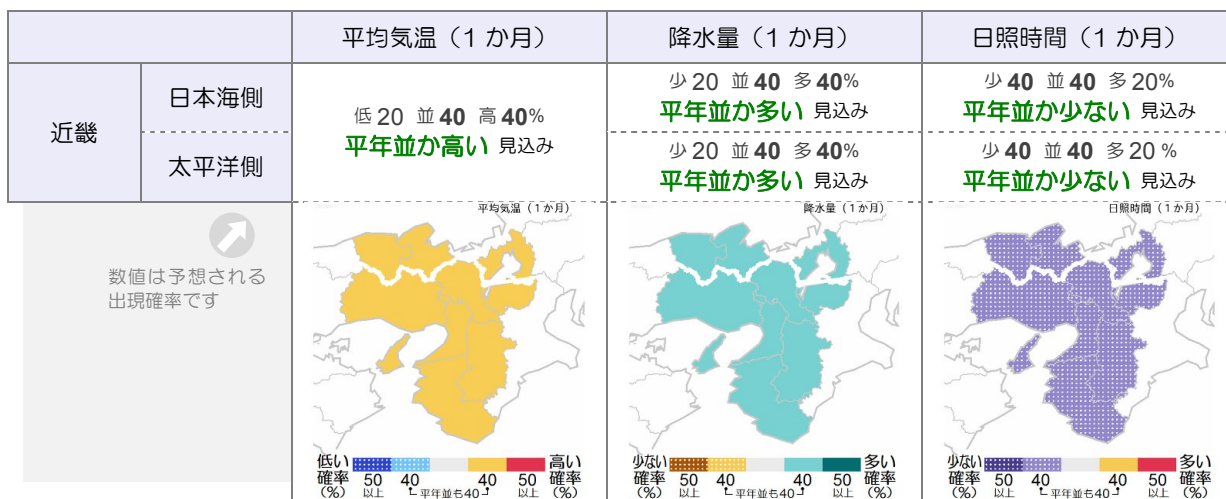
近畿地方（8 月 19 日～9 月 18 日）

大阪管区気象台

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の気温は平年並か高い見込みです。
- 気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすく、向こう 1 か月の降水量は平年並か多いでしょう。また、向こう 1 か月の日照時間は平年並か少ない見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間










週別の天候

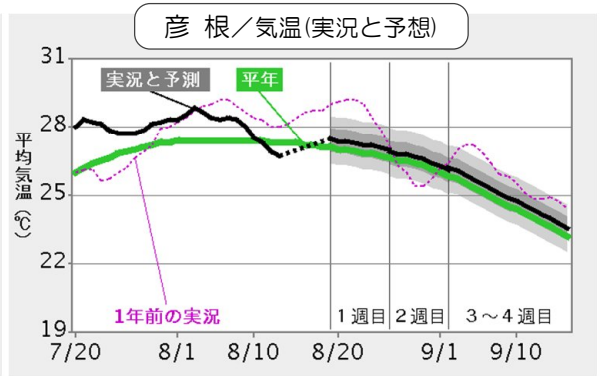
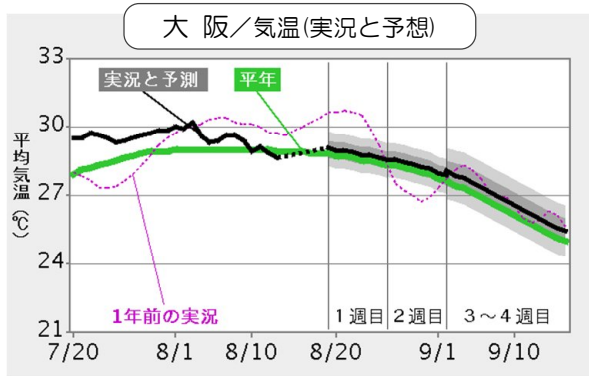
(1 週目) 8/19～25	(2 週目) 8/26～9/1	(3～4 週目) 9/2～15
気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。	気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。	高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 8/19~25	平均気温（2 週目） 8/26~9/1	平均気温（3~4 週目） 9/2~15
近畿地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 50 高 30% 平年並 の見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 平均気温（1 週目）	 平均気温（2 週目）	 平均気温（3~4 週目）
	 低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)	 低い確率 (%) 以上 50 40 50 高い確率 (%)	 低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)
	低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)	低い確率 (%) 以上 50 40 50 高い確率 (%)	低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)



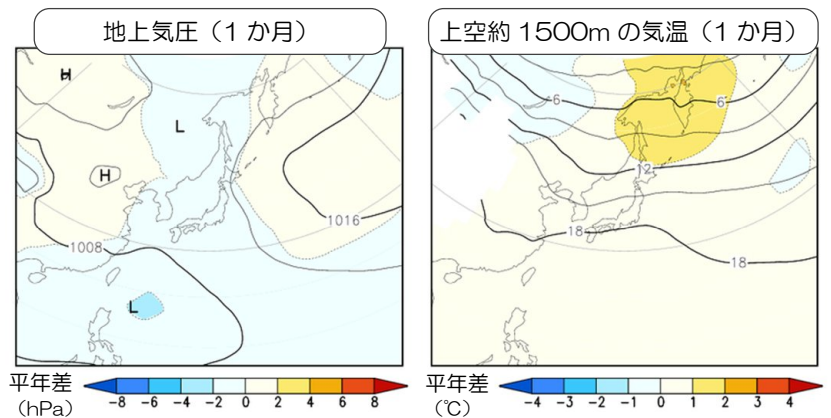
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本の東海上では高い一方、日本の南海上から日本付近は低い予測となっています。

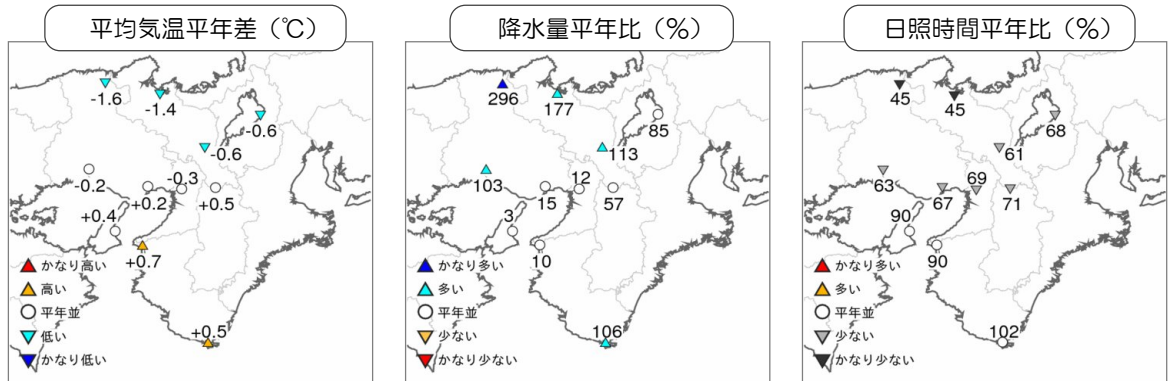
上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近では全体的に高い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 8/10~16

前線や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。
また、期間のはじめと終わりには、日本海側で大雨となったところがありました。



(実況) 8/10~16		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	-0.2℃ (平年並)	186% (多い)	53% (少ない)
	太平洋側		52% (平年並)	77% (少ない)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差: -0.1~+0.4℃	平年差: -0.3~+0.5℃	平年差: -0.4~+0.6℃	平年差: -0.4~+0.7℃
彦根	25.5~26.1℃	26.5~27.4℃	25.8~26.9℃	24.4~25.3℃
大阪	27.1~27.8℃	28.2~29.1℃	27.6~28.7℃	25.9~27.1℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
近畿日本海側	平年比: 71~109%	平年比: 91~105%
近畿太平洋側	平年比: 64~105%	平年比: 92~107%
彦根	85.1~142.9mm	154.9~176.8 時間
大阪	70.7~116.2mm	156.8~186.5 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	16.9 日	7.9 日	4.4 日	1.8 日	4.5 日	1.6 日	8.0 日	4.5 日
大阪	17.6 日	7.6 日	4.8 日	1.6 日	4.6 日	1.7 日	8.2 日	4.2 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 4.0% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み